令和６年 第１５回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和６年１１月２１日

仙北市教育委員会

令和６年 第１５回 仙北市教育委員会定例会会議録

１　開会宣言　令和６年１１月２１日（木）　午後２時００分

２　場　　所　西木総合開発センター　２階　集会室

３　出席委員

教育長	須田　　喬
教育長職務代理者	坂本　佐穂
委員	橋本　　勲
委員	田口　桂一郎

４　出席した事務局職員

教育部長	阿部　　聡
教育次長	福田　裕司
教育総務課長	湯澤　　満
学校適正配置準備室長	若松　正輝
学校適正配置準備室参事	毛利　俊介
学校教育課長	丹野　広史
北浦教育文化研究所長	斉藤　丈彦
総合給食センター所長	大石　　基
生涯学習課長	草彌　直子
中央公民館長	髙倉　正人
田沢湖公民館長	佐藤　文恵
市民会館長兼田沢湖図書館長	信田　昌史
学習資料館・イベント交流館長	栗原　由紀子
平福記念美術館長	小松　亜希子

５　議事

（１）議案審議

議案第２７号　令和６年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

議案第２８号　令和７年度仙北市一般会計予算の教育費について

（２）報告事項

報告第２４号　仙北市教育行政報告について

６　審議の経過及び結果

（須田教育長）

ただいまから、令和６年第１５回仙北市教育委員会定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には、齋藤課長補佐と赤上主事を任命します。署名員は、私と委員から橋本委

員を指名します。前回会議録の承認についてですが、定例会につきまして、田口委員におかれましては、会議が終わり次第署名をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に教育長あいさつということですけれども、私からは３点お話させていただきます。

１点目が、各地区の文化祭についてです。１０月１２日の角館地区の文化祭を皮切りに田沢湖地区、西木地区と開催することができました。コロナ感染症の拡大に伴い中止したり縮小したりしていた文化祭も以前のような形で開催できました。多くの市民の皆様に参加いただき盛況のうちに終えることができました。次年度は、市政２０周年ですので、仙北市総合文化祭として実施したいと考えています。

２点目が、ヤマメ・サクラマスプロジェクトについてです。小学校の職場体験のまとめポスターは、各文化祭で掲載し好評でした。１４日には、角館中学校を会場に市としては２回目となる合同企業説明会を開催できました。昨年同様、市内にこのような企業があるとは知らなかった。今後の職業選択の一助にしたという意見がたくさん出ました。今年度は、応募が相当あり、ふるい分けを振興局が行いましたけれども、次年度もさらなる形でバージョンアップしていきたいと思っています。また、本日配付させていただいた「せんぼくはたらくＢＯＯＫ」が完成しました。今年のテーマは「女性と若い世代の活躍」です。仕事のやりがいや小・中学生へのメッセージも掲載されています。生き生きと働く写真もたくさん載せてあり、それも好評でした。早速、大仙市教育委員会のキャリア教育担当指導主事から「拝見したら、朝から体中が熱くなった。どの方にも仕事、地域への思い、かつドラマがある。今日も同じ空の下でそれぞれの立場で一生懸命働いていることが本当に尊いことだ。児童生徒はもちろんですが、大人にも手に取ってもらいたいと個人的に思います。私みたいに元気をもらえると思います」という熱いメッセージが届きました。各学校でどのようにして子どもたちに活用していただくか楽しみです。併せて、この執筆者の方々を招いて保護者や子どもたちにお話をしてもらう機会をつくりたいと考えております。

３点目が、１０日に行われた仙北市音楽交流会「音の泉」です。これまで仙北市においては団体単位の発表会や披露会はあったものの、一堂に会しての音楽会はなく、市内の様々な団体から実施してほしいとの要請があり、実現したものでございます。併せて、坂本委員から、小・中学校の文化部の交流を実施してほしいというご意見もあり開催の運びとなりました。当日は３００人近くの参加、聴衆があり、大変盛況な会となりました。以上、報告３点でありました。

次に教育長の報告についてです。

－資料により説明－

それでは、審議案件に入ります。議案第２７号令和６年度仙北市一般会計補正予算の教育費についてお願いします。

（湯澤教育総務課長）

議案綴の１ページ２ページをご覧いただきたいと思います。１２月補正予算、教育総務課ですけれども、２ページ資金前渡預金の方で、利子が発生しましたので、今回歳入ということで、１千円の補正ということで計上しております。

（丹野学校教育課長）

続きまして、学校教育課の補正予算について説明させていただきます。初めに資料の訂正がございます。３ページの歳出上から４段目、１０款２項２目、一般教育振興総務費と書いておりますが、１０款３項２目の誤りでした。大変失礼しました。それでは説明を続けます。

歳入１４款２項５目、教育費国庫補助金につきましては、へき地児童生徒援助費等補助

金の要綱改正がございましたので、これに伴う歳入の増加を補正しているものでございます。こちらは、来年度から角館小学校に通学する白岩地区の子どもたちのスクールバスを購入するための補助金となっております。

続きまして、歳入１６款１項２目、利子及び配当金につきましては、預金利率引き上げに伴って文教施設整備基金積立金が増額となったため補正したものです。

続きまして、歳出１０款１項２目、文教施設整備基金積立金。これは先ほど説明したとおり、預金利率の引き上げに伴って増額となった利子分を積立金として計上するものです。

続きまして、歳出１０款１項４目、スクールバス購入事業費につきましては、こちらも先程ご説明したとおり、へき地児童生徒援助費等補助金の要綱改正に伴って、歳入が増額となった分を財源振替するものです。歳出額に変更はございません。

続きまして、歳出１０款２項１目、一般管理費（小学校費）でございますが、こちらは、校外学習等に使用する貸切バスの運行増加により、今後不足が見込まれる分の額を補正するものでございます。

続きまして、歳出１０款３項２目一般教育振興総務費。こちらは中学校費になりますが、教員が使用する教科書と指導書を購入するために補正するものでございます。４年に一度教科書の改訂が行われますが、来年度は中学校の教科書で予定されております。こちらは、今年７月に教科書採択協議会を経て決定した教科書の参考単価が１０月上旬に分かったため今回補正するものでございます。

続きまして、歳出１０款３項２目、中学校部活動指導員配置事業費。こちらにつきましては、部活動を指導する指導員が、大会や練習試合等の引率に伴って発生する旅費について、実績を踏まえて不足分を補正するものでございます。以上でございます。

（信田市民会館長兼田沢湖図書館長）

４ページ、仙北市民会館です。１０款５項９目、舞台運営費委託料になります。こちらは年度当初予定していたイベントよりもイベント数が増になったことにより、舞台管理委託料１月から３月分が不足になりましたので、１０１万７，０００円を補正として予算計上しております。

続きまして５ページ、田沢湖図書館です。１０款５項３目、管理運営費。修繕料になります。こちらは、定期の点検により指摘のあった消防設備の修繕費ということで、避難時誘導灯修繕と非常用照明の修繕の２件の修繕費となっております。以上です。

（須田教育長）

ご質問ありますか。

－質問なし－

よろしいですね。

それでは議案第２７号は承認とします。

次に議案第２８号令和７年度仙北市一般会計予算の教育費についてお願いします。

（阿部教育部長）

それでは、議案第２８号令和７年度仙北市一般会計予算の教育費について、要求概要を説明させていただきます。資料につきましては、議案綴の６ページ以降でございます。

令和７年度の当初予算の教育委員会関係の予算要求額につきましては、２４億４９９万１，０００円となりました。令和６年度当初予算額より１４億５，２５３万３，０００円の増となっております。このように要求額が増額となった要因につきましては、主に市民会館施設改修費といたしまして、１４億６，８５０万円、こちらが含まれているためというふうに分析しております。来年度の当初予算調整にあたりましては、市全体で、次年度以降の予算編成の安定化に向けた具体的見直し方針に基づく削減案、５億円を掲げまして、

各部局から事業の洗い出しを行っております。委員会関係では、白岩小学校閉校に伴う維持管理費、事業精査に基づく特別支援教育支援員派遣事業、学校環境改善交付金事業、小中学校諸工事費等について見直しをすることとして予算要求をしています。なお、予算要求は、１０月末で締め切りとなっています。今後は財政課との査定作業の中で、事情聴取等に基づき調整が進められて行くことになります。

各課の主な予算要求の内容につきましては、各課長から説明をさせていただきますので、よろしくお願いします。

（湯澤教育総務課長）

それでは、７ページ教育総務課から主なものを説明いたします。７ページの一番下、育英奨学基金操出金ですけれども、こちらは、今年４月から来年３月まで返還すべき奨学金のうち、ゲットバック制度に該当する償還免除分について補填するもので、６５件９９５万６，０００円の繰出金を予定しており、その分を計上しております。もう一つは、８ページになります。こちらの方も中身としては、同じものになりますが、令和８年度分として、限度額１，０５３万２，０００円ということで、予算の承認をお願いするもので、承認をいただいたうえで、来年の４月にゲットバック制度の申請を受付けるためのものとなります。説明は以上です。

（若松学校適正配置準備室長）

１０ページ学校適正配置準備室です。予算は歳出１点です。１０款１項２目、学校適正配置関係事業費です。内容ですけれども、引き続き、学校適正配置計画の策定に向けた検討委員会の開催等を行ってまいります。そして新たに、統合候補校の使用校舎改修について検討するための概算業務を委託して行う費用を計上しております。私からは以上です。

（丹野学校教育課長）

続きまして、学校教育課から当初予算の説明をさせていただきます。１１ページからになりますが、当初予算のうち、新規事業や特に説明すべき事業についてのみ説明させていただきます。飛びまして１３ページをご覧ください。１０款１項３目、校務支援システム運用事業費について説明させていただきます。こちらは、来年度から教職員が使用する統合型校務支援システムを運用していく費用となっております。校務支援システムについては、成績処理、出欠管理、教務系、学籍系、健康診断票等保健系についての機能を有するもので、データの一元化ができ、より一層効率化が期待できるものとなっております。なお、こちらの事業につきましては、９月補正により、システムの構築費用を計上したものでございます。１０月８日にシステムを構築する契約をＮＴＴ東日本と締結しまして３月までに完了する予定となっております。

続きまして、１０款１項３目、ＧＩＧＡスクール構想推進事業費についてでございます。例年の予算に加えまして、令和７年度にはＧＩＧＡスクール端末として、令和２年度に一人１台端末として導入したものについて、更新するための予算を計上しております。こちらにつきましては、導入後５年経過しましたので、差し迫っているバッテリーの寿命など、課題を解決するために来年度端末を更新するものでございます。こちらにつきましても、県が主導して進めている県域での端末の共同調達に加わって実施していくものと考えております。

続きまして、１０款１項３目、若鮎応援プラン祝金事業費について説明させていただきます。こちらにつきましても、今まで支給していました進級進学時の祝金に加えまして、大学等上位学校に進学時に給付型の支援をしたいと、当該事業の寄附者よりお話をいただきました。そちらの制度につきまして、現在、要件などを整備しているところでございます。大まかには、大学などに進学する若鮎応援プラン祝金対象者を前提に、生活などに困

窮している方で、月４万円を２名に給付するという感じで制度設計を行っているところでございます。

続きまして、１４ページになります。１０款３項１目、校内教育支援センター運営事業費につきまして説明させていただきます。こちらは令和７年度よりの新規事業として考えております。角館中学校内に、不登校気味の生徒や教室での活動が難しくなっている生徒等の支援を行うため、角館中学校内に教育支援センターを開所し、教員の教育指導補助員として、会計年度任用職員を１名配置したいと考えております。こちらにつきましては、文科省の通知「不登校児童生徒への指導のあり方について」に基づきまして、対象となる生徒の支援を行うものであり、本市の教育理念でもあります「誰をも取り残さない教育」の実現に向けて取り組む新規事業と考えております。

当初予算につきましては、特に説明する事項につきましては以上でございますが、前回１０月の定例会で、委員の皆様から当初予算についてご意見を賜りました学校の消耗品費、校内の照明、神代小学校の雨漏りの件につきまして、少しご説明させていただきます。学校の消耗品費につきましては、前回説明させていただいたとおり、今年度から各学校の子どもの数や先生の数などから、その額を調整させていただきました。来年度予算要求する際には、各学校の消耗品費に対して、増額要望はございませんでしたので、今年度と同額を要求しております。今後も、学校の規模や子どもたちの数等、各学校の状況に見合った適切な予算編成を行っていきたいと思っております。なお、角館小学校については、白岩小学校の子どもたちの分も上乗せして要求しております。

続きまして、学校の照明につきまして、現在、適正配置準備室で進めている適正配置の方向性や結果も含めて、各学校のご意見を聞きながら、今後の修繕計画に役立てさせていただきたいと思っております。こちらについても、学校環境整備について、できることから引き続き行っていきたいと思っております。

神代小学校の校舎の雨漏りについては、ここ数年雨漏り頻度が増えていること、範囲が拡大していることから、来年度の当初予算の方に諸工事費として予算計上しております。ただ、全面改修ではなく、部分改修ということで予算計上をしております。令和５年度に管理係が現地調査して取りまとめた屋根の状況調査報告書から、主たる原因について雨漏り対策を行う計画としております。

申し訳ございません。資料の訂正が、もう２点ございました。１５ページ、１０款２項１目学校管理費、１０款２項２目教育振興費、どちらも１０款３項１目、１０款３項２目となります。大変失礼しました。学校教育課からは以上でございます。

（斉藤北浦教育文化研究所長）

続きまして、北浦教育文化研究所です。１７ページをお開きください。新規事業の計上はございませんけれども、歳出の方の１０款１項５目、仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費といたしまして、消耗品費の方に３０万円を計上しております。これは、子どもサミットで決定したことを具現化するための予算として計上しているものです。以上で終わります。

（大石総合給食センター所長）

給食センターから説明させていただきます。給食センターでは、今年度２名いた会計年度職員が１名減になること以外は、予算は今年度並みとなっております。１９ページ２０ページをご覧ください。債務負担についてご説明いたします。令和８年度より総合給食センター調理等業務の開始を円滑に進めるため、令和７年度中に業者と契約する必要があり、委託期間が複数年にわたることから債務負担行為を設定するものです。債務額につきましては３年間で、２億８，８９６万３千円を予定しております。説明は以上です。

（草彅生涯学習課長）

それでは、生涯学習課の予算要求について説明させていただきます。資料の２１ページと２２ページをご覧ください。要求概要につきましては、例年通りとなっており新規の事業はありませんが、歳出の方の１０款５項１目、上から５段目になりますが、学校・家庭・地域連携総合推進事業費の中で、新たな取組として「放課後子ども教室」を開設するための予算を計上しています。この教室についてですが、子育て推進課の方で実施した保護者アンケートの中に、放課後児童クラブの方で、もっと学習の時間を増やしてほしい、学習をするようにもっと声掛けをしてほしい、という要望がありました。そこで、この協働活動の事業の中には、放課後こども教室という補助金が該当する部分がありましたので、こちらの方で予算要求をお願いするところです。具体的に今考えているのは、特に要望の多かった西明寺小学校での実施を予定しております。

前回の会議で、坂本委員の方からＬＧＢＴＱの件についてご質問をいただきましたが、そちらについては、生涯学習課の方で予算計上しておりませんが、男女共同参画の担当課であります、まちづくり課の方で、県の事業を活用して講座を実施しているということでしたので、生涯学習課の方としても、担当課の方から情報共有をしていただき、こちらの方でも取り組んでいきたいと考えているところです。説明は以上です。

（髙倉中央公民館長）

中央公民館から、説明させていただきます。資料２３ページをご覧ください。当初予算の要求概要につきましては、例年通りとなっておりますが、歳入については、公民館施設の使用料と雑入としまして、コピー、印刷機の使用料、電気使用料などを見込んでおります。歳出につきましては、１０款５項１目の花いっぱい運動推進事業費については、今年度並みの要求額としております。市内の希望する集落や団体などへ配布するマリーゴールドの花苗購入費を計上しております。１０款５項２目については中央公民館のほか、田沢湖と角館公民館を合わせた所管の施設にかかる管理運営費と、講座・教室開催などの活動推進事業費を計上しております。その他、県と仙北地域の公民館連合会への負担金、文化祭開催に係る実行委員会への補助金を計上しております。なお、文化祭につきましては、来年度、市政２０周年の節目にあたり記念事業としまして、３地区を一堂に会した合同開催の可能性を見込んだ要求額となっており、今年度より増額となっております。中央公民館からの説明については以上となりますが、引き続き角館公民館（小野崎家）についての概要を説明いたします。２４ページをご覧ください。例年通りとなっており、新規事業についてはございません。歳入については、施設の使用料となっています。歳出の要求額については、施設の運営、維持管理に係る経常経費となっており、例年で８０万円程下回っております。角館公民館の説明については以上となります。

（信田仙北市民会館長兼田沢湖図書館長）

続きまして、仙北市民会館です。２５ページになります。歳出、新規のものといたしまして、１０款５項９目、管理運営費の中では修繕費。こちらの方は、仙北市民会館、館内の時計は事務室のパソコンから一括して表示するものになっておりますが、不具合が生じておりまして、こちらの方の修繕費も上げております。続きまして、自主事業運営費になります。こちらの委託料の主なものといたしまして、来年「ドラム・タオ」の公演の開催を予定しておりまして、こちらの公演の開催料、歳入１０款５項６目こちらの方に入場料を歳入として上げております。続きまして、市民会館施設整備事業費。こちら先ほど部長の方からご説明ありましたけれども、仙北市民会館の大規模改修の分の要求額となっております。続きまして、舞台運営費、音響設備更新費。こちらにつきましては、舞台の方で使用する音響設備が、今年ももちろん、この音響設備を使用しておりましたが、途中で音

が切れたり、音が出なくなったりという不具合がありまして、舞台で使う音響設備を更新したいということで、こちらの方上げております。仙北市民会館は以上です。

続きまして、２６ページ田沢湖図書館になります。田沢湖図書館は、新規事業はありません。以上となります。

（栗原学習資料館・イベント交流館長）

学習資料館・イベント交流館です。２７ページをご覧ください。前年度と違う点につきまして説明させていただきます。歳入について、今年の１月に高井有一氏の著作権料を譲り受けましたので、予算に計上しています。歳出については、学習資料館管理運営費に学習資料館内のＷｉ－Ｆｉ環境を整備するための予算１７万５，５６０円を要求しております。イベント交流館展示費では、企画展に必要な資料を購入するための、備品購入費５万５千円を要求しました。説明は以上です。

（小松平福記念美術館長）

続きまして、平福記念美術館の予算を説明させていただきます。令和７年度の予算要求の概要については、新規の事業の計上はありません。歳出につきまして、１０款５項６目の管理運営費につきましては、施設の老朽化による修繕箇所が多いため、前年度より若干多めに予算を計上しています。他の事業は、前年度とほぼ同様額を計上しております。美術館については以上となります。

（須田教育長）

今、来年度の要求予算額についての説明がありましたけれども、ご質問等ありますか。

（橋本委員）

２５ページの市民会館の改修事業についてですけれども、早期に改修工事に着手できるように検討します。という答弁がありましたけれども、額が、約１４億７千万円ということで、どこをどのようにするのか支援アドバイザーの方に意見を聞いて検討していくということだったので、そこら辺のところを教えていただきたいということと、額があまりにも大きいので、事前に財務の方と打合せして、可能性としてはどういうものかという、その２点をお伺いしたいと思います。

（信田仙北市民会館長兼田沢湖図書館長）

市民会館の施設整備事業費について説明させていただきます。こちらの大規模改修につきましては、期間については１年ほど予定しておりまして、来年の事業もう入っておりますので、早ければ来年の１２月くらいから閉館して１年間ということで予定をしております。改修箇所につきましては、緊急性のあるところからということで、吊り物設備、舞台の照明、舞台幕、緞帳等をつっている吊物設備と館内全体の空調設備。こちらの２点の改修でこの金額となっております。音響照明等、座席等は入っておりません。財源といたしましては、今、市の方と協議して考えているところが、過疎債を使用して行いたいと思っています。過疎債につきましては、補助率が７０パーセントになっていますので、残りの３割は一般財源から出さなければならないというところで、中々前の方に進めない状況、合併特例債も７割ほどなんで３割同じなんですけれども、１４億の内の３割を一般財源から出さなければならないというところで、中々決断ができていないところではないかと思いますけれども、昨今新聞、ニュース等で皆さん見ているかと思うんですけれども、資材の高騰であるとか、人件費高騰などで、県立体育館や横手市民会館等、大幅な増となっておりますので、このまま、ほうっておいても良くならないですし、負担が増えていくだけだと思いますので、なるべく早くやりたいなということでは、市民会館に今年度来ていただいたアドバイザーの方と話しております。以上です。

（須田教育長）

よろしいでしょうか。その他ありますか。
（田口委員）
１４ページ、１０款３項１目の校内教育支援センター運営事業費、新規ということで、先ほど説明をいただきました。大変素晴らしいことだなと思います。不登校児童が増加している傾向にあって、一番多い角館中学校内に、少しでも支援の体制が充実するということは、大変素晴らしいことだなと思いまして良かったなと。是非実現してほしいものだと思います。まだ要求時点ではございますけれども、これは文科省の通知等でこういった支援体制を組むということが叫ばれていますけれども、予算としては市単独か、あるいは補助金等あるものかどうかという点と、この支援体制を整備するにあたって、１名の報酬を予定しているわけですけれども、どういった方を想定しているのか。今、答えられる範囲で結構ですので、教えていただければと思います。
（福田教育次長）
私の方からご説明いたします。補助は、国３分の１、県３分の１が予定されております。この支援員に関しましては、教員免許を持っている方を募集しようと考えているところです。
（田口委員）
体制としては、週５日間ずっと学校内にいるというような勤務体制なのですか。
（福田教育次長）
はい。１日７時間の週５日間を予定しております。
（田口委員）
分かりました。
もう１点、よろしいですか。１０款１項３目１３ページの一番上ですけれども、校務支援システム運用事業ということで、前にももしかしてお話聞いたことがあったかもしれませんが、令和７年度からの運用開始ということで準備を進めているということでしたけれども、これは教員が使うシステムですね。毎日、日常的に校務支援に使うシステムですけれども、義務教育であれば、県で統一されているとか、大曲仙北郡内は、同一システムを使用しているとか、そういったことがあるのでしょうか。確認したいと思います。
（丹野学校教育課長）
これにつきましても、県で共同調達し、同じようなシステムを全県的に広めるということで、大仙市、美郷町でも同じものを使用することになっています。
（田口委員）
分かりました。ありがとうございます。
（須田教育長）
その他、ありますか。
－質問なし－
まだ要求額ですので、全部付くとは限りませんけれども、何とか担当の方よろしくお願いします。議案第２８号は承認とします。
それでは、報告事項に入ります。報告第２４号仙北市教育行政報告についてお願いします。
（阿部教育部長）
それでは、報告第２４号仙北市教育行政報告についてであります。
議案綴の２９ページから３４ページになります。令和６年１１月２８日、令和６年第７回仙北市議会定例会において、教育行政報告を行うもので、その概要について説明をいたします。

３１ページの方をご覧ください。初めに学校適正配置準備室からです。学校適正配置の取組について、学校適正配置に係る意見交換会の開催状況。生保内地区保護者に対するアンケート調査結果の状況。今後のスケジュール等について報告をいたします。

続きまして、学校教育課からであります。マーチングバンドにおける児童の活躍についてです。１１月２日に開催された第５３回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会での角館小学校の成績等について報告いたします。

次に、秋田県中学校秋季体育大会についてであります。１１月２日から１０日までの期間に開催された秋田県中学校秋季体育大会の各種目に出場した市内中学校の選手、チームの成績状況を報告いたします。

続いて３２ページであります。「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールについてです。令和６年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールに応募した表彰状況を報告いたします。

続きまして、北浦教育文化研究所からであります。仙北市教育研究会研究大会についてです。１１月８日に開催した仙北市教育研究会研究大会について、言語活動の充実に向けた工夫やＩＣＴの効果的活用事例、より良い学びの集団づくり等について、研究協議の状況、成果についてご報告をいたします。

続いて、仙北地域中学生向け企業説明会についてです。１１月１４日に市内中学２年生を対象に行った企業説明会について、本市への理解を深め、地域や社会を支えようとする意欲を高める機会となったことと併せ、参加した生徒の意見等も交え状況を報告いたします。

３３ページです。「せんぼくはたらくＢＯＯＫ」の発行についてです。ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業の一環として、本市で働く女性を取材し魅力的に生きる姿を伝え、本市の魅力再発見や仕事について考えを深めるための「仙北市夢百科事典　せんぼくはたらくＢＯＯＫ　Ｖｏｌ．１」の発行について報告いたします。

３４ページであります。平福記念美術館からであります。「第４７回児童生徒県南美術展」についてです。１１月２８日から開催する「第４７回児童生徒県南美術展」について、応募状況と会期について報告をいたします。

教育行政報告の概要については、以上でございます。

（須田教育長）

ご質問ありますか。よろしいでしょうか。

では、その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

（斉藤北浦教育文化研究所長）

１０月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

初めにいじめについてです。１０月は小学校が１件。中学校はありませんでした。

次に１０月の不登校児童生徒の状況についてです。小学生７名、中学生が２４名。計３１名となっています。

先月のスペース・イオの活用は３。さくら教室の活用は０でした。以上で終わります。

（須田教育長）

ご質問等ありますか。よろしいでしょうか。

それでは、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

（湯澤教育総務課長）

別冊の令和６年第１３回教育委員会定例会会議録をご覧ください。

－資料にて説明－

誤字、脱字等ありましたら、後で私の方まで教えていただけますようお願いします。

（須田教育長）
　学校適正配置準備室からの報告お願いします。
（若松学校適正配置準備室長）
　学校適正配置準備室からは、本日午後１時１５分から開催されました、仙北市教育委員会協議会の内容についてご報告します。
　協議会の方で協議した協議項目のみ報告させていただきます。一つ目は、今月１１日に開催した生保内学区住民の意見交換会の報告。二つ目は、今月１６日に開催しました市内全園・小・中保護者との意見交換会の開催報告。三つ目は、今月１８日開催の第２回学校適正配置検討委員会の開催報告です。そして四つ目ですけれども、それらの開催報告を受けて、小中学校の具体的な再編案について協議をいたしました。内容としましては、小学校については、神代、西明寺、桧木内この三つを統合する案。そして中学校は、同じく神代、西明寺、桧木内という案と、もう一つは、それに生保内を加えた４校の統合案というものを有力な候補として、今後、１１月からまた市民、保護者と意見交換を進めていくということを確認いたしました。報告は以上です。
（須田教育長）
　その他ありますか。
（湯澤教育総務課長）
　来月の会議の日程についてお知らせをいたします。教育長の事務報告の用紙にも書いていますけれども、議会の関係がありまして１２月は、１２月２０日（金）会場は学習資料館の方で、会議を開催させていただきたいと思っています。時間ですけれども、午後１時３０分から西木正明さんの展示の方をご覧いただきまして、その後午後２時から学習資料館２階の会議室で、定例会を開催したいと考えております。
　あと、教育委員の皆様のお手元にチラシがあると思いますけれども、来週の金曜日に市民会館で、国・県・市共催で、拉致問題啓発舞台劇が公演されます。市内の中学校全員観覧予定ということと、一般応募で現在１５０人ほど応募があるということで、もしお時間とご興味があり、ご観覧される場合は私の方までご連絡いただければと思いますので、よろしくお願いします。私からは以上です。
（須田教育長）
　よろしいでしょうか。
　それではこれをもちまして、令和６年第１５回１１月仙北市教育委員会定例会を終了いたします。２３日の白岩小学校の閉校式行事につきましても、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

（閉会宣言：午後３時００分）